

(一財)北九州上下水道協会の外郭団体への移行について

1 背景

これまで、(一財)北九州上下水道協会は、専門的な技術力と経験を持ち、設立以来50有余年にわたり、本市上下水道のライフラインの維持・管理などを、上下水道局と一体的に取り組む、局の補完的な役割を果たしてきた。しかしながら、現状では協会と市とは出資関係がなく、市は協会の経営等に関与できていない。

また、上下水道事業を取り巻く環境が変化する中で、効率的・安定的な事業運営や国内外の水事業へ効果的な対応を進めるには、市と協会の関係を明確にしたうえで、一体的な取組を行う必要がある。

今後の上下水道のライフラインの効率的・安定的な運営、水道事業の広域化や海外水ビジネスへの対応のため、協会を市が出資する外郭団体に移行する。

2 外郭団体の目的

国内外の水事業への効果的な対応と効率的な事業運営の推進

① 上下水道事業における効率的・安定的な事業体制の整備

外郭団体として、市の関与を強めることで、水の製造から各家庭への供給にいたるライフラインの維持管理、雨水対策や公共用水域に放流する処理水の水質管理など、基幹的業務の効率的・安定的な事業体制を維持することができる。

また、市議会への業務報告などを通じた、事業運営の適正化・効率性などについて、多面的なチェック体制を強化することができる。

② 国内外の上下水道事業体への支援など新たなビジネス展開を効果的に推進

外郭団体として、市との関係を明確にすることで、局と一体となった事業展開(宗像地区包括業務委託)や、市との関係を活かした自主事業の開拓を図ることができる。

国際交流や海外事業案件のコーディネート・支援など、市と一体的な事業展開や市との関係を活かした自主的な案件の開拓等を行うことができる。

3 外郭団体の概要

(1) 法人の形態 株式会社

(2) 資本金と出資比率

- ・資本金 運転資金等を考慮し、検討中
- ・出資比率 市 … 51%以上
市以外… 水関連メーカーや金融機関

(3) 主な事業内容

- ・市内の上下水道事業～市と一体的に行うライフラインの維持に関する業務
〔上水道事業〕 上水を製造する浄水場の運転監視など
〔下水道事業〕 下水処理水の水質管理・雨水対策に係る中央操作など
- ・広域事業 ～ 宗像地区事務組合の水道事業を一部受託
水道施設維持管理業務、浄水場運転業務、水道施設の工事に関する業務など
- ・海外水ビジネス事業 ～ 国際技術協力や水ビジネス
研修受入・技術者派遣、コンサルタント・アドバイザー業務、
北九州市海外水ビジネス推進協議会の運営など

(4) 今後の予定

平成 27 年 10 月 株式会社の設立
平成 28 年 4 月 事業開始

【参考】（一財）北九州上下水道協会の概要

(1) 設立の経緯

昭和 36 年 6 月、当時の旧北九州水道組合退職者が、その知識及び技術を水道行政推進のために役立て、北九州地区における水道の普及発展に寄与することを目的に行政補完型公益法人として、(財)北九州水道協助会を設立した。

その後、法人の名称を、昭和 46 年 4 月に(財)北九州上水道協会、昭和 48 年 4 月に(財)北九州上下水道協会と改称した。

平成 23 年 9 月に、一般財団法人に移行し、今日に至っている。

(2) 基本財産 100 万円